

MR-EP DNS Protection 利用規約

第1条（総則）

1. 本利用規約（以下「本規約」といいます）は、株式会社テクノル（以下「当社」といいます）が提供するセキュリティサービス「MR-EP DNS Protection」（以下「本サービス」といいます）の利用条件を定めるものです。
2. 本サービスの利用者（以下「利用者」といいます）は、本規約の内容を十分に理解し、これに同意の上、本サービスを利用するものとします。利用者が本サービスの利用を開始した時点で、本規約に同意したものとみなします。

第2条（定義）

本規約において使用する用語の定義は、以下のとおりとします。

- ・本サービス：当社がOpenText社の「Core DNS Protection」を利用して提供する、DNSレイヤーでのセキュリティ保護を目的としたサービス。
- ・OpenText社規約：本サービスの提供元であるOpenText社が定めるエンドユーザーライセンス契約（EULA）およびクラウドサービス利用規約（Cloud Service Terms and Conditions）。
- ・利用者設備：本サービスの提供を受けるために利用者が設置するコンピュータ、電気通信設備その他の機器及びソフトウェア。

第3条（本サービスの内容）

1. 本サービスは、利用者のネットワークから発生するDNSクエリを監視・フィルタリングし、マルウェア、フィッシングサイト、その他の悪意のあるドメインへのアクセスをブロックすることにより、サイバーセキュリティの脅威から利用者を保護することを目的とします。
2. 当社は、本サービス内容及び仕様を、当社の判断により予告なく変更することができるものとします。

第4条（契約の成立）

1. 本サービスの利用を希望する者は、本規約に同意の上、当社所定の方法により利用申込みを行うものとします。
2. 当社が申込みを承諾した時点で、利用者と当社との間に本サービスの利用契約が成立するものとします。

第5条（利用料金）

1. 本サービスに関する料金は、別途定める料金表のとおりとします。
2. サービス料金は、本契約開始日から計算します。
3. 利用者は、本サービスに関する料金およびそれに係る消費税等（以下「料金等」といいます）を、当社からの請求書に基づき、別途定める支払期日までに支払うものとします。
4. 利用者が料金等の支払を遅延した場合、年利3%の割合による遅延損害金を当社に支払うものとします。
5. 利用者は、本契約の有効期間中に本サービスの利用資格を失った場合、または本契約が理由の如何を問わず終了した場合であっても、既に支払われた料金等の返金を求めることはできず、また未払いの料金等がある場合はその支払義務を免れるものではありません。ただし、当社の責に帰すべき事由により本契約が解除された場合は、この限りではありません。
6. 当社は、著しい経済変動、提携事業者の料金改定、その他本サービスの提供コストが大幅に上昇する事由が生じた場合、料金改定日の2ヵ月前までに書面で利用者に通知することにより、サービス料金を改定することができるものとします。ただし、料金改定が利用者に不利とならない場合は、料金改定日の前日までに通知することにより改定できるものとします。

第6条（利用者の義務及び禁止事項）

1. 利用者は、自己の責任において利用者設備を維持管理するものとし、本サービスを不正利用するために使用しないことを保証します。
2. 利用者は、本サービスの利用にあたり、以下の行為を行ってはならないものとします。
 - (1) 法令または公序良俗に違反する行為
 - (2) 犯罪行為に関連する行為
 - (3) 当社または第三者の知的財産権、プライバシー、その他の権利または利益を侵害する行為
 - (4) 本サービスのネットワークまたはシステム等に過度な負荷をかける行為
 - (5) 本サービスの運営を妨害するおそれのある行為
 - (6) その他、当社が不適切と判断する行為

第7条（OpenText 社規約への同意）

1. 本サービスは、OpenText 社が提供するサービスを基盤としています。利用者は、本サービスの利用にあたり、以下の OpenText 社が定める利用規約（以下総称して「OpenText 社規約」といいます）の内容を遵守することに同意するものとします。

- ・エンドユーザーライセンス契約（EULA）

<https://cybersecurity.opentext.com/legal/eula/>

- ・クラウドサービス利用規約（Cloud Service Terms and Conditions）

<https://cybersecurity.opentext.com/legal/cloud-terms-and-conditions/>

2. OpenText 社規約の内容が変更された場合、変更後の規約が適用されるものとします。ただし、当該変更が利用者の権利を制限し、または新たな義務を課す等、利用者に不利な影響を及ぼすものであると当社が判断した場合、当社は速やかにその変更内容を利用者に通知します。
3. 本規約の定めと OpenText 社規約の定めとの間に矛盾または抵触が生じる場合、本規約の定めが優先して適用されるものとします。

第8条（知的財産権）

本サービスに関連する一切のプログラム、ソフトウェア、商標、商号、及びこれらに付随する技術全般に関する知的財産権は、当社または OpenText 社その他の正当な権利者に帰属します。

第9条（免責事項）

1. 当社は、本サービスが全てのセキュリティ脅威を検知・ブロックすることを保証するものではありません。
2. 当社は、以下の各号に定める事由により利用者に生じた損害について、一切の責任を負わないものとします。
 - (1) 利用者設備の不具合または故障
 - (2) OpenText 社のサービス提供の停止、中断、終了、または仕様変更
 - (3) 通信回線の障害、天災地変、その他当社の責に帰すべからざる事由
3. 本サービスの利用に関連して利用者が第三者に損害を与えた場合、利用者は自己の責任と費用においてこれを解決するものとし、当社に一切の迷惑をかけないものとします。

第10条（サービスの停止・中断）

当社は、以下のいずれかに該当する場合、利用者に事前に通知することなく、本サービスの全部または一部の提供を停止または中断することができるものとします。

- ・本サービスに係るシステムの保守点検または更新を行う場合

- ・ OpenText 社がサービスの提供を停止または中断した場合
- ・ その他、当社がサービスの停止または中断が必要と判断した場合

第 11 条（契約解除）

当社は、利用者が本規約のいずれかの条項に違反した場合、何らの催告を要することなく、直ちに本サービスの利用契約を解除することができるものとします。

第 12 条（損害賠償）

1. 利用者設備に起因して本サービスを利用できない場合、当社は損害賠償の責任を負わないものとします。
2. 当社の責に帰すべき事由により利用者に損害が発生した場合、当社が負う賠償責任は、通常かつ直接の損害に限り、かつ損害発生の原因となった本サービスの月額料金を上限とします。ただし、当該損害が当社の故意または重大な過失に起因する場合は、この限りではありません。

第 13 条（準拠法及び管轄裁判所）

1. 本規約の解釈にあたっては、日本法を準拠法とします。
2. 本サービスに関して紛争が生じた場合には、被告の本店所在地を管轄する裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

以上